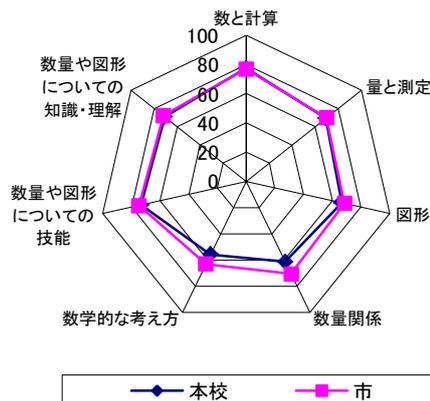


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	77.4	77.0	70.4
	量と測定	69.4	69.8	68.5
	図形	66.7	68.6	72.4
	数量関係	61.2	70.6	60.4
観点別	数学的な考え方	55.8	63.0	54.8
	数量や図形についての技能	73.3	74.7	67.3
	数量や図形についての知識・理解	70.7	72.0	74.9



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)

★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均とほぼ同じである。 図を使って文章問題に合った式を選ぶ問題について、正答率が非常に低い。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでも、計算ドリル等を用いて繰り返し計算練習を行ったり既習学年の復習を行ったりしてきたが、今後も「宮っ子学カステップアップシート」などを活用しながら、継続して復習に取り組む。 文章問題を図式化して考えるような問題に取り組み、指導をしていく。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均とほぼ同じである。 既習事項の基本的な公式を用いて考える問題については正答率が高いが、公式を用いるだけではなく、その単元で学習した以外の知識を用いなければならなかったり、2段階3段階と順を追って考えなければならないような問題については、正答率が低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した内容を用いて、多面的に問題を捉えられるように復習を行っていく。 身の回りで使われている量を測定したり、単位同士の関係を調べたりする算数的活動の充実を図る。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の平均とほぼ同じである。 既習学年で学習した内容についての正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した内容を用いて、多面的に問題を捉えられるように復習を行っていく。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均より下回っている。 文字を使った式や比など、相対関係がある問題についての正答率が低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章から立式し、計算していくような問題に取り組んでいく。また、これまでに学習した内容を用いるような復習を行っていく。 数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて自分の考えをまとめ、互いに伝え合う言語活動を充実させることで、実感を伴って理解できるようにする。